

平田ロータリークラブ 週報 ~ No. 2152 (令和 元年 8 月 8 日)



Rotary



2019-2020 年度

国際ロータリー会長 / マーク・ダニエル・マローニー
2690地区ガバナー / 古瀬 俱之

会長 / 持田 稔樹 副会長 / 釜屋 治男
幹事 / 杉原 朋之 会計 / 板垣 文江

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F

TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
8月8日	会員 重親 政継	新入会員スピーチ
8月15日	休会	
8月22日	平田広域交番 所長 野地 正弘 様	交通事情
8月29日	原 豊 様	音楽と健康

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	(当日の) 出席率
42	28	14 (5)	75.68 %

■欠席者

原伸 / 飯塚大 / 黒田 / 三好 / 松浦 / 大谷良 / 高砂 / 板垣 / 園山
(山根 / 牧野 / 遠藤 / 河原 / 伊藤)

■来訪者

なし

■メイクアップ

8/4 佐々木(G 補佐会) 飯塚大(地区委員長会)

8/5 佐々木・清原(出雲中央)

■次回例会受付当番

(8月22日) 大島淳司 / 小汀泰之 / 大島卓爾

(8月29日) 福田磨寿穂 / 大谷厚郎 / 大谷良治

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央 8/26	松江南 8/12(-) 8/26
火	出雲 8/13(-) 8/20	松江しんじ湖 8/13 8/27
水	大社 8/14(-) 8/21	松江 8/14 8/28
木	(-) ; ビジター受付 なし	松江東 8/15(-) 8/29
金	出雲南 8/16(-) 8/23	

■会長挨拶

「廣畑 富雄」氏の書かれた本の紹介をします。(初版 2006 年、第 4 版 2009 年) 廣畑氏は 2003 福岡西 RC 会長、2005 RI 第 2700 地区ガバナー、2007RI 日本代表委員、医学博士、題名は、「ロータリーの心と原点 Back to Basics 基本に返ろう」という本です。

その 23 話中、1 話「ロータリーの心 ポール・ハリスが目指したもの」を紹介します。

ロータリーの心を考えるには、ロータリーの創立者ポール・ハリスが、なぜロータリーを創立したのかを学ぶ必要があります。彼がロータリーを始めた理由は何か。

その答えは簡単明瞭です。彼は「友情」を求めてロータリークラブを始めました。

彼は米国の北東部にあるバーモント州の、ウオリングフォードという村で育ちます。

ご承知の方が多いと思いますが、ポール・ハリスは家庭に恵まれなかった。父親が仕事に失敗し、幼い時から祖父母に育てられます。

やがて弁護士になり、故郷を遠く離れシカゴで弁護士を開業します。

しかし親友や友人から遠く離れ、結婚もしておらず、絶望的に淋しい思いをします。

彼はある日、シカゴ郊外の弁護士仲間を訪ねる。そして二人で夜散歩をするのですが、その友人は町で会う人ごとに、ファーストネームで呼び合う。彼はそれを見てショックを受ける。

かつてのウオリングフォードでの生活、皆が友人であり親しい仲間であった事を思い出す。

そして、クラブを作る事を考えるのです。広いシカゴで、いわば都会砂漠のシカゴで、田舎から出てきて友人がおらず、淋しい思いをしている者が大勢いるに相違ない。そういう人達でクラブを作った素晴らしいのではと考えるのです。

そしてその数年後の 1905 年に、最初のロータリークラブを結成します。

断っておきますが、ロータリーが友情だけの団体であれば、今日の大発展はなかったでしょう。しかし同時に、これほど友情を大事にする団体でなければ、今日の大発展は決まらなかったと思います。

以上、ロータリーは友情が基本だと述べました。そのほかポール・ハリスが大切だと思っていたことを要約してみましょう。一つは「寛容」の精神です。今一つは「職業分類」です。

つまり一人のロータリアンが、一つの業種を代表するものである、という事です。近年これが崩れようとしているのは残念なことです。さらに興味があることは、「なぜロータリアンは、ロータリーの集まりを楽しむのか、それはロータリーでは、会員は形式主義を脱ぎ捨て、自然な態度に帰り、楽しい集まりが持てるからだ」と述べています。ロータリーの会合では少年に戻るとも述べています。と綴られています。

改めて、「友情」や「寛容」、「職業分類」について考えたいと思いました。



■幹事報告

1. 出雲一畑交通(株)平田営業所様、ほり江様よりお中元をいただきました。

2. 夏季休暇のお知らせ

地区ガバナー事務所 8/13(火) ~ 8/16(金)
菊地GE事務所 8/13(火) ~ 8/15(木)
地区財団事務所 8/13(火) ~ 8/16(金)

3. 事務局休局(盆休)のお知らせ

8/13(火) ~ 8/16(金)

委員会報告

恒松財団委員長より

「出席率の算出と出席免除会員について」

スマイル

持田稔 (親睦委員会の皆様、先週の納涼例会、楽しく過ごさせて顶きました。ありがとうございました。)

本日のスピーカー重親会員宜しくお願いします。)

杉原 (重親会員スピーチをよろしくお願いします。)

大谷厚 (重親支店長様のご入会心から歓迎申し上げます。 本日は折角のスピーチで恐縮ですが、所用にて途中退席させていただきます。悪しからず。)

内田 (重親支店長様、今日はスピーチありがとうございます。)

佐々木 (重親会員、入会早々のスピーチありがとうございます。)

F1 2019年のシリーズで、ホンダエンジンを搭載したチームが、6月と7月で計2回の優勝を果たしました。後半戦の活躍も期待できる状態です。)

清原 (重親支店長、新入会員スピーチ楽しみにしています。)

土江 (納涼会では会員の皆様方にご協力頂き、盛会に終る事ができました。ありがとうございます。)

石原俊 (いよいよ来週からお盆休みですね。皆様よいお盆をお迎え下さい。)

スピーチ・例会行事

新入会員スピーチ 「重親 政継 会員」



昭和45年5月20日雲南市吉田町に生まれ、吉田小学校・吉田中学校・県立三刀屋高校を卒業後、大阪の大学を経て、山陰合同銀行に入学いたしました。

趣味は子供の部活(スポーツ)の応援で、長男と次男は平田高校の野球部にお世話になり、今、次男は高校2年生で高校のグラウンドで白球を追いかけています。

銀行員生活を通じて感じたことは「地元を知る、大切にする」ということです。浜田・出雲・松江・江津・倉敷・松江・掛合・広島・そして平田と各地を転勤してまいりましたが、転勤のたびにいろいろな出会いがありました。それ

により自分自身を大きく成長させていただきました。それぞれの赴任先で地域、お取引先のお役に立ちたい一心で今日を迎えています。

44歳の時に地元の掛合支店支店長を拝命し3年間勤務しました。勝手知った地元だと思っていましたが、実態と現状をよく知らなかった、恥ずかしく情けない思いをしました。30年ぶりの地元は高齢化が進み、小学校は統廃合が進んで、寂しくなった地元を目の当たりにして、何とかしなくてはならないと強く感じました。生まれ育った吉田町は田部家があり、550年前よりたたら製鉄が行われてきましたが、大正12年に操業をやめたとされています。現在でも日本で唯一「菅谷たたら」が現存する場所が、生家のあるところです。小中学校の頃はそんなすごいものであることは思いませんでしたが、社会人になって、またそこで勤務して恥ずかしながら地元の良さ・素晴らしさ、すばらしい資源にあらためて気づくことができました。近年では日本遺産登録に認定され、トワイライトエクスプレス瑞風が立ち寄る場所としても有名です。広島勤務時代に取引先の社長様から「たたら製鉄」に関するお話を聞く機会があり、まさか広島の地で地元の「たたら製鉄」の言葉を聞くとは驚きでした。これが縁で吉田町においてになったこともあり、田舎にも良いものが良いものがたくさんあり非常に誇らしく感じました。これは一例ですが、島根県、そして平田にも素晴らしいものがたくさんあり、それに住民が気付くことが重要と考えます。地元の平田高校も地元を勉強し、地元活性化に向けての取り組みをされているお話もききました。それぞれがそれぞれの立場でより一層よい平田にしていけるように私も微力ながら一生懸命がんばります。

もう一つ。子供の野球やバレーの応援を通じて学んだことは、「のぼせんといけん」ということです。子供たち選手は当然必至に頑張っていますが、応援している親自身も一緒になってのぼせないとい体感はずいぶん生まれず、結果もついていきません。これは銀行の業務にも重なり、支店長自身がまずは何事にものぼせないとい部下はついていきません。私も前任者同様、すべてのことに対して全力でやり抜く覚悟で頑張ってまいります。皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

